

有田工業高校の特徴や誇れるもの

本校は、古くから焼き物の町として有名な有田町にあり、日本初の陶磁器産業技術者養成機関「勉脩学舎」を源とし、開校百二十余年の歴史と伝統のある学校です。

セラミック科・デザイン科・電気科・機械科の4つの学科があり、有田の伝統風土を守り、未来のものづくりを担う技術者の育成を目指している全国でも数少ない工業高校です。また、定時制課程も併設しています。部活動では、県内で唯一ウエイトリフティング部を持ち、毎年、九州大会や全国大会で実績を残しています。

初代校長納富介次郎氏の縁で石川県立工業高校、富山県立高岡工芸高校、香川県立高松工芸高校と生徒会や生徒作品の交流を続けています。

卒業生には、陶芸家青木龍山氏や世界的デザイナー吉岡徳仁氏、元プロ野球選手古川侑利氏らがおられます。



地元小学校との連携



「陶芸交流授業」は、セラミック科・デザイン科の生徒が地元の小学校へ出向き、高校で学んだ知識や技術を活かして、焼き物の指導補助を行うものです。作品制作のお手伝いをしていく中で、焼き物制作の楽しさを地元の子どもたちに伝え、地元産業の継承に貢献することを目的に行っています。

学校所在地：佐賀県西松浦郡有田町桑古場乙2902
 連絡先：0955-42-3136
 生徒数：416名（令和7年度1月現在）

有工ふるさと検定

平成19年度より3年生を対象に「有工ふるさと検定」を実施しています。これは、有工独自で問題集を作成、その中から出題し、合格した人を表彰するというものです。問題集は、佐賀県や市・町に関すること、学校や有田焼に関することなどの100問が掲載されたものです。卒業を前にふるさとを知り、その良さに気づいてもらいたい、大切にしてもらいたいという思いで実施しています。



R6年度表紙

地域学習の日

毎年、「地域学習の日」を設け、1年生は「有田の歴史を学ぶ」、2年生は「有田の産業を学ぶ」をテーマに掲げ、各クラスごとに生徒自身で学習コースを企画し、旧跡や窯元などを巡り、地域との関わりを深め、理解する機会としています。



（泉山磁石場の見学）

学校の誇れるものの紹介



全校マラソン大会



「母と子」(百武兼行作)



ありすがわみやたるひとしんのう へんかく
有栖川宮熾仁親王扁額